

## 帯域外雑音について

平成17年12月22日  
長野県協同電算

弊社別寄書(SMS-30-NKD-01)で、FTTR形態のVDSL回線から浸入する多大な帯域外雑音がADSL回線に悪影響を与えることをあきらかにした。また既存ADSL回線サービスで使用するCPEの帯域外雑音に対する耐性は、製品格差が大きいこともあきらかにした。とはいえ、従来、ADSL回線事業者にとって帯域外雑音は想定外の問題であった。したがって各事業者が帯域外雑音に対する耐性を基準にしてCPEを選択してきたとは思えない。

しかし帯域外雑音は今後の重要問題であると考えられ、規制による解決策や技術による解決策、制度上の被害者保護や加害者側負担等の問題も含めて、本会合の場で総合的な対策を施すための議論を尽くすことを提案したい。ちなみに弊社では1.1MHz以上や2.2MHz以上の雑音をカットするフィルタ(弊社では「スーパーローパスフィルタ」と呼んでいる)の試作をNECトーキン殿に依頼し、次回会合までにその効用を検証する予定を立てている。

D.2.4		帯域外雑音への総合対策	SMS-30-xx
-------	--	-------------	-----------

以上。